

市長会見の項目（概要）

と き：令和元年9月19日(木)14:00～

ところ：市政記者室

■ 新たなペットボトル回収・リサイクルシステムに係る国と連携した先進的モデル事業の実施について

<担当：環境局事業部家庭ごみ減量課 電話：06-6630-3230> 【フリップあり】

- ◆ 大阪市では、「G20 大阪サミット」及び「2025 年大阪・関西万博」の開催地として、SDGs（持続可能な開発目標）先進都市をめざし、プラスチックごみゼロに向け、自ら不断の取組を行うとした「おおさかプラスチックごみゼロ宣言」を本年1月に大阪府知事・大阪市長共同で行った。
- ◆ 宣言に掲げた取組の一つとして「地域・事業者との連携による新たなペットボトル回収・リサイクルシステム」を全国の他の自治体に先駆けて構築した。
- ◆ 本年の6月には、参画事業者と事業連携協定を締結したところである。
- ◆ この取組は、資源ごみとして行政が回収している家庭から排出されるペットボトルを、地域コミュニティと事業者が連携協働で回収し、分別を徹底することにより、国内におけるボトルからボトルを作るといったマテリアルリサイクルを促進する。
- ◆ 分別に対する意識をより高めごみの減量リサイクルを推進していく。
- ◆ さらに、コミュニティビジネスの要素を取り入れることで、自律的な地域運営へ寄与し、活力ある地域社会づくりに貢献する仕組みとなっている。

- ◆ 国においても、5月にプラスチックの資源循環を総合的に推進するための方向性をとりまとめた「プラスチック資源循環戦略」が策定され、6月のG20大阪サミットでは、2050年までに新たなプラスチックごみによる汚染をゼロとすることをめざす「大阪ブルー・オーシャン・ビジョン」が盛り込まれた「大阪宣言」が採択された。
- ◆ そうしたなか、この取組が、国の「プラスチック資源循環戦略」の実現に向けた先進的モデル事業として選ばれ、令和元年10月の1か月間、国と連携して2地域で実施することになった。
- ◆ 鶴見区緑地域ではサントリー-MONOZUKURI エキスパート株式会社と、港区南市岡地域ではマツダ株式会社と、それぞれ契約を締結したうえで実施する。
なお、11月からは、市単独で本格実施する。
- ◆ 今後、この取組を実施していくことで、プラスチック資源循環をより一層推進していく。